

会議の開催結果について

- 1 会議名 令和4年度第2回上尾市地域公共交通活性化協議会
- 2 会議日時 令和4年11月17日(木)
午後2時30分から
- 3 開催場所 上尾公民館 401講座室
- 4 会議の議題 (1) 市内循環バス「ぐるっとくん」見直し実施方針(案)
について
(2) バス停の移設について
(3) その他
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 非公開の理由
- 7 傍聴者数 3人
- 8 問い合わせ先 市民生活部交通防犯課
(担当課) 電話：048-775-5138(直通)

会 議 録

会 議 の 名 称	令和4年度第2回上尾市地域公共交通活性化協議会	
開 催 日 時	令和4年11月17日(木) 午後2時30分	
開 催 場 所	上尾公民館 401講座室	
議長(委員長・会長)氏名	西嶋 秋人	
出席者(委員)氏名	山科 和仁(代理:和田 真聡)、田沼 健一、野口 佳一、 鈴木 貴大(代理:鈴木 秀忠)、関根 肇(代理:金川 新吾)、 藤田 貢、坂口 真一(代理:神宮 一雄)、武井 裕之、 浦野 泰一(代理:齋藤 幸太)、田中 崇、鮫嶋 紀子、 久保田 尚、伊藤 太佳博、古谷 健、向井 一哲、 岡野 孝史、小林 克哉、西嶋 秋人	
欠席者(委員)氏名	山口 正史、木住野 誠、新井 昌行、小川 ゆかり、 長島 徹、石川 克美	
事務局(庶務担当)	黒田市民生活部次長、藤波交通防犯課長、神部副主幹、 渡邊副主幹、石塚主任	
会 議 事 項	1 議 題	2 会 議 結 果
	議事(1) 市内循環バス「ぐるっとくん」見直し実施方針 (案)について 議事(2) バス停の移設について 議事(3) その他	議事(1) は継続協議 議事(2) は承認
議 事 の 経 過	別紙のとおり	傍聴者数 3名
会 議 資 料	別紙のとおり	

議事の経過

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	《開会》
	《会議成立を報告》
	《西嶋委員に議長を依頼》
会長	《非公開情報の確認》
事務局	《非公開情報はない旨回答》
会長	《会議公開に対する異議の確認》
委員	《異議なし》
会長	《会議の公開決定》
	《傍聴希望者の確認》
事務局	《傍聴希望者は3名と回答》
会長	《傍聴希望者に入室してもらおう》 《議事録署名人を鮫嶋委員に依頼》 《鮫嶋委員に承認をいただく》
会長	議事「(1) 市内循環バスぐるっとくん見直し実施方針(案)」について、事務局から説明をお願いいたします。
事務局	<p>説明に入る前に、実施方針(案)の検討に至るまでの、これまでの振り返りを簡単に行います。市内循環バスぐるっとくんは、平成28年2月に、大幅な再編を実施し、6路線69便から9路線96便へと充実を図っております。この再編から5年が経過しました。</p> <p>その後、令和元年度には、ぐるっとくんに対する市民アンケート調査を行い、「運行本数」や「運行時間帯」に対して、満足度が低いとの調査結果が示され、改善が求められておりました。令和3年度には、ぐるっとくんを利用されている方々へのアンケート調査を行い、市民の声を広く拾ってまいりました。このなかでも、ぐるっとくんの増便を求めのご意見を多く頂戴したところがございます。さらには、発着場所は、乗り継ぎ方式ではなく上尾駅での発着を希望される方々が多くいることも分かりました。</p> <p>そして、令和4年度第1回の協議会のなかで、新たに策定した「上尾市地域公共交通計画」に基づき、ぐるっとくんの見直しについて、検討を進めることをご報告させていただき、本日ご提案に至ったところで</p>

もちろん、この見直し事業については、大きな事業でございますので、慎重かつ丁寧に進めていければと思っております。このため、本日は、私共の実施方針（案）をご説明させていただき、その後、皆様から、忌憚のないご意見を頂戴する場にしたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

いずれにしましても、コロナ禍により、利用者数の回復見込みが中々経っていない状況でもあります。しかしながら、コロナ禍前までは、年間48万人を超える方々に、ご利用いただいている実態もございます。市のぐるっとくん見直しの方針としては、既存路線での充実をどこまで図れるかに絞り、このうえで利便性を向上していくための、様々な施策の検討を行ってまいりたいと考えております。そして、大切なことは、民間バス事業者も含めた、持続可能な公共交通路線網の構築を図ることを第一に考えて、進めてまいりたいと思っております。本日は、よろしくお願い致します。

《議事1に基づき説明》

会長

《委員に意見を求める》

田中委員

見直し方針（案）について、利用者のアンケート調査結果を踏まえ、使い勝手の良さを重視する方向性であろうと思います。

前提条件として、運転手の人員増が望めない中、大幅な増便は難しいという話がある一方で、結論としては増便する（案）になっていると見受けられますが、本当にできるのでしょうか。今までも要望があった中で進んでこなかった増便について、どのようなお考えで増便ができると判断されているのでしょうか。

事務局

実際にどこまで増便ができるのか、というご質問ですが、ぐるっとくんの見直しにつきましては、バス事業者と相談しながら進めております。1時間に1本の増便となると運行経費が高くなり、バス事業者としては難しいという意見を頂いています。このため見直し（案）に関し事前に聞き取りをして増便の幅をご相談する中で、現行10台から14台への増車は可能、という確認が取れており、その中で可能な増便数を検討したところです。

今後さらに検討を進めていく中で、バス事業者と調整してまいりたいと考えております。

伊藤委員

増便と運賃改定（案）について、スケジュールとしてはどのくらいを目途で実施される予定でしょうか。

また、EV車の導入検討について、市所有なのか、バス事業者の所有なのか、具体的にイメージされているところがありましたら、教えてください。

事務局

現在、小型バスについては、日野自動車ポンチョの車両で運行していますが、現在この車両が生産停止となっており、再開がいつになるか不明という状況にあります。

その中で、見直しの歩みを止めるということではなく、車両の生産再

<p>武井委員</p>	<p>開後、車両を受注できることを想定してスケジュールを考えております。現時点の目安として、令和6年度のぐるっとくん見直しを目指しながら、今後の契約やバスの受注を対応していきたいと思っています。ただ、車両の生産開始時期が遅れば、見直し時期も遅れる可能性もあります。</p> <p>また、EV車導入の所有等に関しては、詳細はこれからとなります。充電場所も含め様々な調整課題がありますので、今後検討を進めていきたいと思っています。</p> <p>交通事業者にとって、需要が戻らずサービス拡大が難しい状況の中、上尾市では増便を目指すという方向性について、大きな意味を持つと思います。縮小傾向に行くと、どうしてもバスが動かなくなってしまうし、出来るだけ多くの方に積極的に外出していただくというのが業界全体の活性化にもつながります。</p> <p>増便する中で運賃の値上げを検討しているところかと思います。運転手不足など様々な問題はありますが、是非、積極的に検討を進めていただきたければと思います。</p>
<p>田中委員</p>	<p>運賃改定について、よろしいでしょうか。自治会連合会会長として、市民代表という立場で意見しますと、当然、値段は安いに越したことはないということになります。収支率が厳しくなっている状況は理解している一方で、営業ではなく、福祉の観点で考えてみますと、路線バスと同じ運賃設定で良いのか、という疑問はあります。これから、高齢者、免許返納者が増える中で、利用者が増えることが想定されます。営業目的でやるものではないと思っているので、極端に言えば収支率はマイナスにならないければよいのではないかと、という考え方もあります。</p>
<p>事務局</p>	<p>頂いたご意見と燃料費や人件費の高騰、民間路線バス運賃との格差の問題などを、どうすり合わせて議論していくかが重要だと考えております。</p> <p>福祉の観点とのご意見がありましたが、公共交通計画の中では、公共交通とは、公共交通機関を利用されている全ての方々の日常の移動手段として利用していただくものとの考え方になっております。</p> <p>一方、交通弱者への支援に関しましては、資料P.14に記載のとおり、運賃改定と合わせた割引制度の検討のなかで、考えていければと思っています。具体的内容については、今後検討させていただきますが、このあたりも含めて、ぐるっとくんの運行維持というものを考えてまいりたいと思っています。</p>
<p>会長</p>	<p>各交通事業者の方々にもご意見等ありましたらお伺いしたいと存じます。</p> <p>《特に意見なし》</p>
<p>会長</p>	<p>よろしいでしょうか。またこの後、各社の状況もお伺いしますので、何かありましたら、よろしく願いいたします。他にありますか。</p>

伊藤委員	<p>コミュニティバスにしても、他の公共交通にしても、利用の有無が存続に関わってきます。経費や運賃の議論はありますが、要は利用されないものは要らない、利用されるのであれば要る、という話かと思っております。</p> <p>今回の運賃値上げは、収支率の改善が目的と認識していますが、利用促進を目指す中で、増便という方向性が提示されています。利用が促進されるように目指すべきと強く思います。</p> <p>アンケート調査結果を見ますと、そもそも移動の選択肢に入らないというのが市民のご意見となっています。2時間に1本程度というサービス水準で、分かりやすい表示にもなっていますが、ぐるっとくんが選択肢に入ってくるようであれば、利用促進につながるかと思えます。</p> <p>ただ、知名度の低さも課題と感じます。自治会などにもご協力いただき、周知を図っていくことが必要と考えます。福祉の観点や料金の議論以前に、利用されなければ、ぐるっとくんは必要ないということになってしまいます。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。今おっしゃっていただいたとおり、ただ増便するだけでなく、色々なパッケージの中で、いかに市民の利便性を高めていくかということを考えております。具体的には、全路線のキャッシュレス化や定期券等の導入、運賃割引制度の拡充など、様々な方策を検討する中で、市民の方々にとっての利便性を高めていきたいと考えております。また、周知についても、市内の行きたい場所などの施設分布と路線網をマップで分かりやすく示すということも考えていきたいと思っております。1人でも多くの方に利用していただくための取り組みを合わせて実施していきたいと考えているところです。</p>
田中委員	<p>利用者のアンケートの中で、運行情報案内に対する意見もあったかと思えます。今バスがどこまで来ているか、あと何分で来るのか、といった表示板が設置可能であれば、そんなことも考えていただけたら良いのではないかと思います。</p>
事務局	<p>頂いたご意見について、バスロケーションシステムによるバスの位置情報を市HPで公表しており、利用者の方がアクセスして閲覧できるようになっています。また、乗降カウントセンサーにより乗車・降車の人数もカウントしています。ご意見にあるようなバス停による位置情報の表示などについても、導入できるか検討していきたいと思えます。</p>
会長	<p>今回の議案1については、ここで決定ということではございませんので、頂いた意見を踏まえ、事務局で修正を行い、次回改めて、修正後の見直し方針（案）をご提示させていただきます。</p>
会長	<p>続いて、議事「(2) バス停の移設について」事務局から説明をお願いいたします。</p>
事務局	<p>《議事（2）に基づき説明》</p>

<p>会長</p>	<p>議事（２）について、ご意見・ご質問等ありましたら、お願いいたします。</p> <p>《特に意見・質問なし》</p>
<p>会長</p>	<p>ご質問がないようですので、質疑を終了いたします。</p> <p>次に、議事「（３）その他」について、事務局から何かありますでしょうか。</p>
<p>事務局</p>	<p>今回の協議会の日程について、令和５年２月３日（金）を予定しております。また詳細につきましては、事務局より依頼文章をお送りしますので、ご確認のうえ、ご出席をお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>今回の日程は２月３日（金）ということです。よろしくをお願いいたします。</p> <p>続いて、ご出席いただいている事業者の皆様には現在の状況についてご報告いただければと存じます。</p> <p>東武バスウエストの和田様からお願いいたします。</p>
<p>和田委員代理</p>	<p>弊社の収入状況としまして、２０２２年上期の収入状況はコロナ前の２０１９年度と比較し７９％程度となっており、２１％の減少という状況です。</p> <p>昨年度と比較しますと１１１％と収入が戻ってきているところではありますが、やはりコロナ前の状況までは戻ってきていないという状況です。感染状況にも波があり、そこに売り上げが左右されている状況ですし、特に今年は燃料費が高騰している状況ですので、収入が戻っても支出が大きいという状況になっています。</p> <p>また、慢性的な運転手不足が起きている中、２０２４年の働き方改革の影響で、輸送能力の低下が予想されるところです。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、朝日自動車の田沼様、お願いいたします。</p>
<p>田沼委員</p>	<p>２０１９年と比較し、現状は９７％という状況です。</p> <p>昨年度１２月に上尾市内の運賃を一部変更しております。収入自体の落ち込みは少なくなっているように見えるのですが、実はそれは運賃を変えているから、ということになります。昨年と比較しますと１１２％と順調に推移しているように見えますが、運賃を上げていることが影響しています。先ほど運賃値上げについてお話がありましたが、当社でも、どうしても値上げせざるを得なくなったという状況から、昨年１０月に運賃を変更しています。</p> <p>ぐるっとくんの路線は路線バスと競合していますので、運賃値上げについては、皆様のご理解をいただければと思います。</p> <p>また、運転手不足は当社でも問題になっています。若い方の採用が非常に少なくなっています。今後高齢化もさらに進んでいく見込みですので、採用活動を頑張っていき、人員確保に努めたいと思っております。</p>

会長	<p>ありがとうございます。 続いて、丸建つばさ交通の野口様、お願いいたします。</p>
野口委員	<p>コロナ前の2019年度と比較しますと、乗車人数について、昨年度は54.8%、今年の上半期ですと67.2%という状況となっております。</p> <p>コロナ前の状況には戻らないことが見込まれます。運行本数の減便をしているのが影響している状況でもあります。</p> <p>また、弊社も運転手不足という状況は同じでございます。定年制度を60歳から65歳に引き上げることで何とか維持をしている状況でございます。</p> <p>上尾市内では、夏休みの時期にさいたま水上公園の利用が、2か月間で1万人ほどご利用いただきましたが、コロナの影響により休園・閉園になった影響を受けています。大会等の規模縮小や無観客開催の影響も受けている状況でした。ただし、今年に入りまして、開催状況が少しずつ戻ってきており、大会関係者や選手の他、有観客開催が増えてきたところで、観客を含めた需要増が見込める状況となっております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 続いて、埼玉県バス協会の金川様、お願いいたします。</p>
金川委員代理	<p>乗合バスについては、事業者の方からお話しいただきましたので、私の方からは主に観光バスに関してお話しさせていただきます。</p> <p>貸切バスにつきましては、コロナ禍が始まりました時に、外出自粛の影響で、全く運行していない状況が連日続いていました。ようやく、蔓延防止等も解消され、旅行支援等も始まりまして、オミクロン株の影響はありますが、現在、学校関係や部活の試合の輸送、旅行支援での輸送が出てきたところでございます。ただ、前月比で10%の伸びなど、微々たる増加であるため、依然として運行していない車両が発生している状況です。運行したとしても、燃料高騰、運転手減少の影響もあり、再稼働というところに費用がかかってしまうため、事業者は非常に厳しい状況になっています。</p> <p>国土交通省が発表しているデータでは、コロナ前との比較で、乗合は20%～30%の減少、観光バスは60%程度の減少というところで、学校関係の利用がなければ、さらに減っているとのこと。県内のバス事業者からお伺いしたところでも同じような状況とのこと。</p> <p>バス協会会員事業者でも、廃業になり3社が退会したところで、車両数としても90台程度減少しており、厳しい状況となっています。</p> <p>現在、第8波が始まったとも言われていますので、バス協会としましても、運行維持、運転手不足、燃料費高騰に対する支援策が必要と言われています。そのあたりにつきまして、ご協力をお願いしたいと思っております。</p>
会長	<p>ありがとうございます。 続いて、埼玉県乗用自動車協会の藤田様、お願いいたします。</p>

藤田委員	<p>配布しました資料は、タクシー輸送人員の令和元年度との比較表となっています。輸送人員の推移は、コロナ感染拡大状況に比例している状況です。ただ、夜に飲食する人が少なくなった影響で、夜の時間帯の利用が減ったと聞いております。</p> <p>かなり厳しい現状ですけれども、166社、約5400台のタクシーが動いている状況でございますので、これからもよろしくお願ひしたいと思ひます。県や各市町村から色々と支援を頂きまして、何とか頑張っておりますので、よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、JR東日本高崎支社の神宮様、お願ひいたします。</p>
神宮委員代理	<p>弊社については、3期ぶりに黒字という状況になっています。とはいえ、コロナ前では2900億円程度の黒字だったところが、現行60億円程度と、黒字額が減少しているところです。利用者数については、コロナ前との比較で、新幹線で66%、在来線で74%程度となっています。直近10月の推移でいいますと、81%まで戻っている状況です。</p> <p>負債額としまして、3月時点で4兆7000億円であったものが、この半年で8兆8500億円と融資負債が増えている状況です。かなり厳しい経営状況となっています。そんな中、皆様の生活様式の変化もあり、利用者数の増加は中々見込めない、という状況です。</p> <p>コロナ前の数字に少しでも近づけることを目標に、会社としましては、イノベーション戦略を推進し、鉄道オペレーションに係る費用の削減に向けた大胆な構造改革を行いながら、努力しているところでございます。</p> <p>色々ご協力をお願いすることもあるかと存じますが、よろしくお願ひいたします。</p>
会長	<p>ありがとうございます。</p> <p>続いて、埼玉新都市交通の武井様、お願ひいたします。</p>
武井委員	<p>外出抑制の影響につきまして、我々交通事業者は移動手段の対価として利益を得ていますので、動くなと言われるのは息の根を止められたような状況だというのは、共通の思いなのではと思ひます。</p> <p>弊社も利用状況としては、他社と同様の動きをしております。コロナ前の2019年には5万2000人ご利用いただいていたましたが、2020年には4万人まで減少しました。2021年は4万3000人、2022年上半期は4万8000人まで回復している状況で、感覚としては1割増となっています。</p> <p>当社の定期内外の利用状況として、定期内4、定期外6の割合となっていますが、2019年と比較すると、定期外の利用は8割に減少しています。一方、通学定期は同水準で動いており、通勤定期は9割という状況で、この2年間ほぼ変化がありません。交通白書にも、テレワークの定着により、今後、通期需要については戻らないのではといった内容が記載されていますが、弊社の利用状況をみましても同じことが言えます。こういった状況を踏まえて、もう一度しっかりと今後の計画を立て</p>

<p>会長</p>	<p>ていかないと厳しいという状況です。</p> <p>また、最近ですと、電気代の上昇が経営を非常に圧迫しており、3月にダイヤ改正を行い減便しております。電気代そのものは5%程度減りましたが、動力費用については1.6倍に増加しています。政府の方で支援策をしていただけるといふ淡い期待はありますが、弊社の2年連続赤字という状況から脱却できるかどうか、電気代に対する支援策が生命線になってきているというところでございます。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>ここまで、各事業者の皆様からご報告をいただきました。誠にありがとうございました。</p> <p>最後に、副会長の久保田先生から、これまでの議論や事業者のご意見等も踏まえまして、ご意見を伺えればと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p>
<p>久保田委員</p>	<p>本日は、熱心なご意見、非常に貴重な情報提供をありがとうございました。</p> <p>ぐるっとくん見直しについては、前向きな応援のお言葉をいただきました。昨今は公共交通サービスの縮小に向かうことが多い中で、拡大をするというのは貴重な取り組みかと思っております。それを行うにあたり、やはり乗っていただくことが必要というご提案がありましたが、ぜひその視点を含めて進めていただきたいと思います。</p> <p>今の日本全体の公共交通は、色々な乗り物を組み合わせて利用ということが考えられていますが、アンケートを見ますと、ぐるっとくんと自転車の乗継については、意識されていないと見受けられます。また新たなモビリティを市民が益々使っていくことが想定される中、利用者の乗継環境の確保も大事な視点かと考えます。ぜひ見直しに合わせてご検討いただきたいと思います。</p> <p>割引制度についても、非常に大事なことだと思っております。料金について他都市の事例を紹介していただきましたが、今どうしているかだけでなく、過去どういう経緯で割引が検討されてきているか、を含めて調べていただきたいと思います。</p> <p>例えば、川越シャトルについては、10年おきくらいに見直しを実施しております。最初は70歳以上無料としていたが、経営圧迫等もあり、80歳以上、90歳以上と引き上げています。また、障害者の方、介助の方へのきめ細かい支援も重要です。運賃を値上げするというのであれば、割引制度もセットで検討するということが必要かと思っております。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>全体を通して、皆様からご意見等ありますでしょうか。</p>
<p>田中委員</p>	<p>前回議事録署名委員でしたが、議事録は委員に配布されているのでしょうか。差し支えなければお配りいただきたいと思いますと存じます。</p>
<p>事務局</p>	<p>議事録は市のHPに掲載しております。それよりも先に閲覧をご希望でしたら、郵送やメールでお送りすることも可能です。</p>

田中委員	郵送で頂きたいのですが、個人的に希望すればお送りいただけるのでしょうか。
事務局	言っていただければ郵送も可能です。
会長	他にありませんでしょうか。
	《特に意見・質問なし》
会長	長時間にわたりありがとうございました。 本日は、これで全ての議事は終了いたしました。これで議長の任を解かせていただきます。ご協力に感謝申し上げます。
事務局	ありがとうございました。 委員の皆様におかれましては、長時間に渡り慎重なるご審議、また貴重なご意見をいただきありがとうございました。 以上をもちまして、令和4年度第2回上尾市地域公共交通活性化協議会を閉会とさせていただきます。本日はどうもありがとうございました。